

市場小だより



学校教育目標 「健康で明るく 強く正しく 共に生きぬく子の育成」 特別号

令和8年3月2日(月)

学校評価の結果について(ご報告)

桃の花咲く季節となりました。先般、保護者の皆様に本校の教育活動についての評価をいただきました。ご協力いただき、たいへんありがとうございました。下記に結果をまとめましたので報告いたします。

【アンケート結果について】

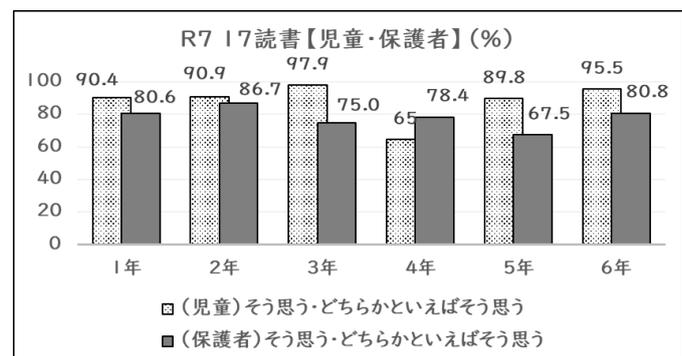
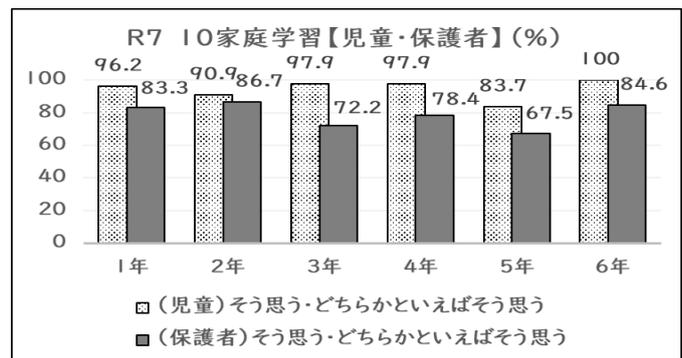
※評価 Aと思う Bどちらかといえばと思う Cあまりそう思わない Dそう思わない のうち、AとBの評価を合計した数値(%)を達成率として表示しています。

【学習について】 ※保護者R7の(↑↓数値)は、保護者R6と比較

アンケート項目	児童 R5	児童 R6	児童 R7	保護者 R7
5 学習内容は理解できていますか。	94.7	94.4	93.0	98.5(↑1.1)
7 水辺の楽校、夢をかなえる科、外国語活動、辞書引き学習など意欲的に取り組んでいますか。	94.4	91.6	90.2	98.0(↑0.3)
8 修学旅行、自然学校、社会見学、学校行事等の体験活動は楽しいですか。	97.5	98.3	98.9	99.0(↑0.3)
10 宿題などの家庭学習は進んでできていますか。	93.7	95.7	94.4	78.0(↑1.3)
17 「読書の日」に、お家で読書をしていますか。	91.5	89.1	88.1	77.6(↑4.4)

○「学習について」は、脳科学の知見に基づき、ノート(紙面)に鉛筆で書くことで学んだことが記憶に残ること

やおの検定・辞書引き・夢をかなえる科などの特色ある取組により、言語力や考える力に繋がっています。毎年3年生の水辺の楽校では、「いちば環境保全隊」の方々の協力による環境体験学習に取り組んでいます。また、修学旅行や自然学校、社会見学、運動会、音楽会などでは、ともに学び、感動を分かち合い、行事をとおしての人間関係形成や課題対応能力の育成である「キャリア教育」の観点も含めて積極的に取り組んできました。宿題や読書に関しては、前年度より若干上昇しているものの、依然として児童と保護者との間に達成感のずれがありました。学年ごとにグラフで表示し、以下に対策を記しています。



【対策】「家庭学習」「読書」

令和5年度3学期より、週1度、読書の日を家庭学習に設定してきました。いずれも各学年において児童と保護者の「できた」という結果に差異があります。対策としては、次の3点を基本に進めていきます。

① 授業において学習内容を理解する

学校で理解しなければ、自分で家庭学習をすることができません。まずは、授業において学習内容を理解することを大切に、分からないことは質問して、納得できるようにしていきます。

② 知識を定着させる

家庭学習で同じことを繰り返すのは、想起練習です。想起とは、記憶から情報を取り出すプロセスのことです。インプットした記憶を2週間で3回以上アウトプットすると、長期記憶として残りやすくなります。

③ 家庭学習・読書を習慣化させる

家庭学習（宿題）は、決まった時間にする習慣を身につけ、目標達成のために、どんな行動を起こすか具体的に計画力・実行力をつけることです。もちろん、最初は、課題を出されることから始まりますが、やがて自分で課題を見つけて、時間をかけて、解決していく力を身につけることが鍵となります。また、本を借りる習慣や国語の学習をとおして本が好きになる子を育成していきます。

【学校生活について】 ※保護者R7の（↑↓数値）は、保護者R6と比較

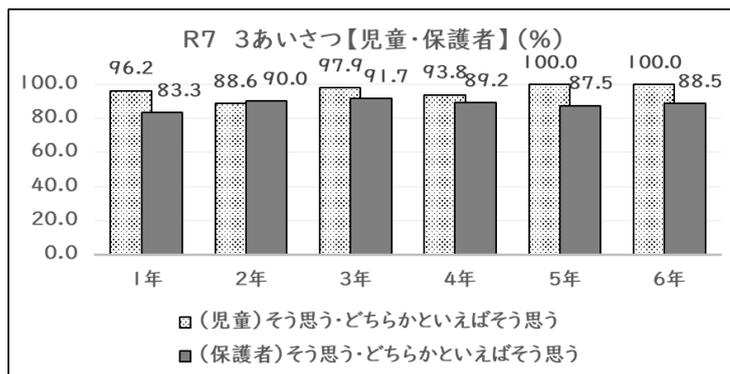
アンケート項目	児童 R5	児童 R6	児童 R7	保護者 R7
1 学校生活は楽しいですか。	93.7	94.9	93.3	97.6(↑0.7)
9 【児童】わからないことがある時や困った時には先生に伝えていますか。 【保護者】学校は、子どもや保護者の悩みに対して適切に相談に応じている。	88.7	89.0	88.1	98.0(↑3.7)

○「楽しい学校生活」については、日頃の生活や授業をはじめとして、児童会活動・学校行事・学年行事・体験的な学習にも取り組みました。また、フレンドリー班などの縦割り活動により、発達段階に応じた他者理解をより深めていきます。学校教育目標である「健康で明るく強く正しく 共に生きぬく子の育成」の実現に向け、今後も活気あふれる集団づくり推進していきます。そして、相談しやすい関係づくりを心がけ、普段の学校生活でより良い人間関係を築き、お互いに楽しいと思える校内環境づくりをめざしていきます。

アンケート項目	児童 R5	児童 R6	児童 R7	保護者 R7
3 あいさつをよくしていますか。	96.5	97.4	96.1	88.3(↓1.1)

【対策】主体的なあいさつ運動

児童会活動として全校生による朝のあいさつ運動にも取り組んでいます。児童、保護者、教職員のいずれの回答からも、地域の見守り隊や立番の方々の声からも低下傾向が見られます。自分から進んで明るくあいさつすることは、相手はもちろんのこと、自分自身も気持ちよくなることを常々説いています。「ありがとうございます」などの感謝の言葉とともに、コミュニケーションを図る大切な手段として、今後も、校内に地域内に「あいさつの輪」を広げていきます。



【人権教育・安全教育について】 ※保護者R7の(↑↓数値)は、保護者R6と比較

アンケート項目	児童 R5	児童 R6	児童 R7	保護者 R7
12友だちに優しく思いやりのある行動をしていますか。	94.7	95.5	96.1	95.1(↑2.3)
14交通ルールや学校のきまりを守り、安全な登下校や学校のくらしができる。	96.9	97.4	92.3	97.6(↑2.9)

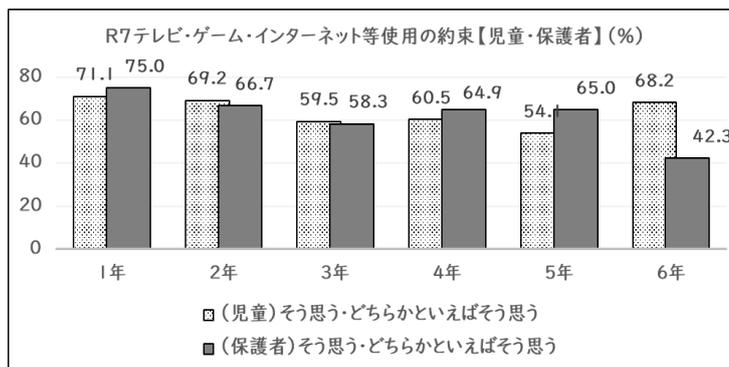
○「人権教育」への意識は今年度も高いです。「人権教育」に関しては、ジェンダーや国際理解教育などをおおして「多様性や相互理解の重要性」を学習し、これからの生活に根差したより良い共生社会の実現をめざします。「交通安全」に関しては、大切な命を守る教育活動として、地域見守り隊の方々の協力により、登校班としての安全意識の向上を中心にさらに指導していきます。

【情報機器使用について】

アンケート項目	R5	R6	R7
【児童】16テレビ、ゲームやインターネット等の約束を守っていますか。	80.9	78.7	74.0
【保護者】16子どもはテレビやゲーム、インターネット、スマホ等の約束を守っている。	57.8	61.2	62.9

【対策】「情報機器使用の約束・徹底」

今年度も「ゲーム・ネット等の使用についての学習」等を行ってきました。学校と家庭の連携、「家庭でのルールづくり」の意識、児童自身に「約束を守る意識」を引き続き指導し、さらなる児童の「情報活用能力」とともに『自己管理能力』の向上をめざして、継続して取り組んでいく必要があります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



【学校と家庭の連携・児童の指導について】

アンケート項目	R5	R6	R7
【児童】13A学校であったことを家庭で話している。	87.7	87.2	86.3
【保護者】13A子どもは学校のことをお家でよく話してくれる。	84.2	87.1	84.9
【児童】13Bアンケート項目なし			
【保護者】13B学校は情報発信や家庭との連携に努めている。	97.8	97.0	98.0
【児童】15先生や友だちの注意をすなおに聞いている。	95.7	94.9	94.0
【保護者】15学校は子どもの間違っした行動をきちんと指導している。	94.7	94.9	95.6

○今後も学校行事や学習参観時はもとより、普段から少しでも家庭での時間をつくらせていただき、お子様の頑張りや良いところ、困ったことや改善すべきところを話題として学校での出来事を話す機会を増やしていただけたらと思います。また、令和5年度3学期から始めた「読書の日」も、ぜひご活用ください。学校HPとともに本年度から導入した「スクリレ」をとおして、情報発信・情報共有を充実させていきますので、よろしくお願いいたします。さらに、日頃の生活指導にもご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。子どもたちが常に自分と向き合い、相手を思いやる言動ができるよう、自立心を育てていきたいと考えます。

【まとめ】

本年度の学校評価アンケート内容について、すべてはご紹介できませんが、いただいたご意見には、保護者の皆様の本校教育への期待と関心の高さをひしひしと感じております。ご協力ありがとうございました。また、検討課題となる意見もいただいておりますので、それらを真摯に受け止め、今後の教育活動にいかしてまいります。

児童と保護者様の結果に差異が見られるところにおいては、引き続き学校と家庭、地域が連携してその対策となる取組を進めていきます。今後も子どもたち一人一人の学力向上をめざし、心豊かな市場っ子の育成に努めますので、引き続きご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。